

地域医療支援病院
川崎医科大学総合医療センター

入院のご案内



令和 年 月 日 (曜日)

時 分に

1階患者診療支援センター内の入院受付までお越しく下さい
(この冊子は入院時に、ご持参ください)



川崎医科大学 総合医療センター

〒700-8505 岡山市北区中山下2-6-1

TEL : 086-225-2111 (代) FAX : 086-232-8343

<https://g.kawasaki-m.ac.jp/>

病院理念

1. 医療は患者のためにある
2. すべての患者に対する深い人間愛を持つ
3. 24時間いつでも診療を行う
4. 先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
5. 地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う

基本方針

1. 患者の権利・意見を尊重し信頼される医療を提供

患者中心の医療を実践するため、患者である前にひとりの人間として権利・意見を尊重すると同時に、患者との人間関係を構築し、最良の医療を提供する。

2. 安全安心で信頼される高度専門医療を提供

先進医療の積極的な取り組みを行うと同時に、安全安心な高度専門医療を提供し、医科大学附属病院として社会的責務を果たす。

3. 地域住民が安心して暮らせる24時間体制の救急医療の提供

地域住民が永住的に安心して暮らすことができるよう、24時間体制の救急医療を提供する。

4. 病診連携による医療の推進

地域の開業医等を対象としたセミナーや研修会を開催するなど、病診連携体制を強化すると同時に、急性期医療を脱した患者の逆紹介を推進し、地域社会との共存共栄を図りながら病診連携を推進する。

5. 患者中心のチーム医療の実践

患者の病状に最良の医療を提供するため、医師をはじめメディカルスタッフが一体となり、チーム医療を実践する。

6. 将来の良き医療人の育成

臨床実習病院として位置づけ、医科大学生をはじめメディカルスタッフの学生の臨床実習を積極的に受け入れ、将来の良き医療人を育成する。

7. 職員満足度の高い職場づくり

職員満足度の高さが、質の高い医療提供につながることから、職員の「働きがい・やりがい」を助長していく環境づくりを行う。

8. 健全な病院運営

安全安心な医療を継続的に提供するためには、健全な財政基盤が必要不可欠な事項であることを踏まえ、包括医療制度の意識教育をはじめ、職員の医療に対するコスト意識を徹底する。

目次

病院理念

基本方針

ごあいさつ 1

入院受付のながれ

セキュリティカード 2

持ち物チェックリスト 2

入院当日にお持ちいただくもの

入院生活に必要なもの

入院生活について 3

食事について／服用／ナースコール／面会時間／外出・外泊
入浴時間／感染予防

病院からのお願い 5

禁酒・禁煙／迷惑行為／動画・写真の撮影、録音禁止／
病状等のご説明の実施時間／器物等の破損や紛失／盗難防止
／携帯電話の使用／危険物の持ち込み禁止／電気製品の持ち
込み／電子レンジ・給湯／病室・ベッドの移動／入れ歯等の
管理／テレビ・冷蔵庫・セーフティボックスのご利用／外部
からのお電話でのお問い合わせ／無料Wi-Fiサービスについて
／お電話の取り次ぎ／付添いで家族の寝具等のレンタル／寝
具・ねまき／ご家族の付添い／午前退院のお願い／洗濯／お
むつ（大人用）／ご意見箱

患者の医療安全 7

名前の表示／リストバンド

お名前の確認（名乗り確認）／患者安全10カ条

転倒・転落予防／職員が血液等曝露した時のお願い

医療・介護・福祉サービス等の相談(患者診療支援センター) 9

地域医療連携について／医療相談について／患者相談窓口
入退院支援について／がん相談について

入院会計 11

DPCによる包括払い方式／高額療養費現物給付制度

病室のご案内／室料差額

入院中他医療機関受診／入院中他科受診

診断書のお申し込み／お支払

施設・設備 13

玄関

患者図書室

屋上庭園

深柢ガーデン

避難経路

院内ご案内 14

施設の紹介

患者の権利 15

患者の皆さまへ 15

職業倫理指針 16

個人情報保護 16

ごあいさつ



川崎医科大学総合医療センター
病院長 猶本 良夫

平成28年12月1日に新病院「川崎医科大学総合医療センター」を開院しました当院は、初代川崎祐宣病院長が昭和13年に外科昭和医院を開設して以来、24時間体制で救急医療を中心に、岡山市中心部で地域に密着した医療を提供してきました。開院以来の「医療は患者のためにある」という理念と最新の設備のもと、地域の皆さまがいつも安心して暮らせるようにどのような疾病の患者さんも診させていただき、質の高い医療を提供するため職員一同たゆまぬ努力を行っています。また、川崎医科大学の附属病院として総合診療を基盤とする良き医療人の育成を使命と考えて実習を行っております。病院内には屋上庭園、敷地内には旧深砥小学校グランド跡地を活用した「深砥ガーデン」を整備しましたので皆さまの憩いの場としてご活用ください。

新病院では「救急医療」、がん治療など最先端の医療を提供する「高度専門医療」、患者さんの早期社会復帰を図る「リハビリテーション」を3本の柱に、患者さん中心の質の高い医療を提供してまいります。予防医療、検診体制も整備しておりますのでご利用くださいますようお願い申し上げます。

入院受付のながれ

入院は医師から入院の指示を受けられた方に限ります。指定期日にご入院できない方は、早めに入院受付までお知らせください。

- ご希望の病室にそえないこともあります。
- 病室の空き状況によっては、ご連絡が入院日の直前になることもありますのでご了承ください。
- 外来受診のある方は先に済ませておいてください。

① 玄関

予約入院の方は、指定された時間に1階患者診療支援センター内の入院受付までお越しください。

② 患者診療支援センター

各種保険証・診察カード・入院申込書を受付にお出しください。また、介護保険証をお持ちの場合はご提示願います。

③ 病棟

病棟に上がられましたら、エレベータホールのインターホンでスタッフにお知らせください。
※セキュリティシステム稼働中のため



セキュリティカード

当院は、入院患者の皆さんに安心して治療に専念していただけるよう、館内はセキュリティを強化しています。

入院患者さん・ご家族の方が、院内を移動される場合は、「入院患者・家族用セキュリティカード」が必要となります。

病院でお渡しするセキュリティカードについては、該当病棟と屋上庭園のみの利用となります。セキュリティカードを紛失された場合は、実費をいただきます。



持ち物チェックリスト

入院当日にお持ちいただくもの

入院受付にお出してください

- 入院申込書・入院証書（誓約書）
- 患者情報シート
- 入院履歴の確認
- 健康保険証、介護保険証、その他の医療証（高齢受給者証、身体障害者証、特定医療費（指定難病）受給者証、乳児医療証、限度額適用認定証等に関するもの）
※ご入院中に保険の資格・種類などに変更が生じた時はただちに入院受付までご連絡ください。
- 診察カード
- お薬手帳、内服中の薬（点眼薬・貼付薬・吸入薬なども含みます）薬袋に入れた状態でご持参ください。
- パンフレット「入院のご案内」



入院生活に必要なもの

持ち物にはすべてお名前をご記入ください。

- 寝衣（パジャマ等）なるべく前開きのもの
- 下着・着替え
- タオル
- バスタオル
- 洗面用具（歯ブラシ、歯磨き粉、洗顔ソープ、電気シェーバーなど）
- 入浴用具（ボディソープ、シャンプーなど）
- 食器用具（箸、スプーン（大きすぎないもの）、フォーク、コップ、ストローなど）
※陶器等は避け割れにくいものをご用意ください。
- 上履き（転倒防止等をご考慮頂き、脱げにくいもの、すべりにくいもの）
- ティッシュペーパー
- テレビ用イヤホン
- メガネ、補聴器、義歯ケース（必要時）
- 油性マジック（名前ペン）
- 時計、カレンダー、愛用品（必要時） ドライヤー（必要時）



※当院では「入院セット」レンタルのご利用を推奨しています。寝衣・日用品は「入院セット」をご利用ください。詳細は入院申込み時にお渡しする「入院セットのご案内」・「入院セットレンタル利用申込書兼同意書」をご参照ください。

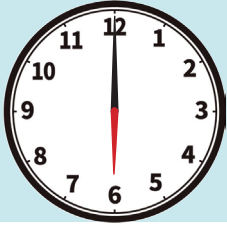
※病状や手術の有無で必要なものが異なります。ご不明な点は看護師にお尋ねください。

※有線 LAN・無線 LAN の設備がないため、インターネットは使用出来ません。

入院生活について



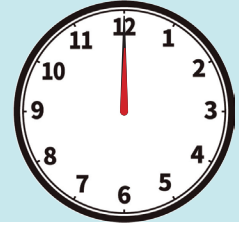
おはようございます



朝食 8:00



昼食 12:00



食事について

食事時間

朝食：8時

昼食：12時

夕食：18時

ご入院中の食事は治療の一環とし、医師の指示により患者さん個々の病態に合わせた食事内容でお届けします。朝食は洋食（パン）タイプか和食（米飯）タイプか選択できます。

毎回の食事についている献立表には、患者さんの氏名等が載っています。お名前をご確認のうえ、食事をお召し上がりください。献立表が不要の場合はお膳と一緒に返却ください。

返されるお膳には、食器、食べ残し以外のもの（紙くず、お手持ちの箸、スプーンなど）はのせないでください。間違ってお手持ちの箸、コップ等をお膳にのせてしまった時は、早めに看護師を通じてお問い合わせください。

栄養食事相談と栄養指導

食事についての説明のご希望、食欲不振で食事が食べられないなど食事に関するご相談がありましたら医師にお申し出ください。管理栄養士が病室に伺います。

また、治療食をお召し上がりの患者さんには、医師の指示により管理栄養士による栄養指導を行います。

服用

お薬の服用については、医師の指示に従ってください。

※健康保険法の療養担当規則により、入院中に他院での診察、投薬で保険証を使用することは原則認められていません（代理でご家族が受診される場合も同様です）。

他院への診療についてご相談があれば、医師または看護師にお申し出ください。

入院中の服薬については、薬剤師より説明をさせていただきます場合があります。

ナースコール

ご利用の方はナースコール（ブザー）を押してください。看護師が病室に伺いますので、しばらくおまちください。

トイレ・浴室（シャワー室）にもナースコールがありますので、ご気分が悪くなった時などに、押してお知らせください。

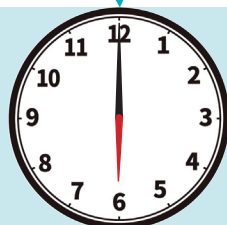




面会 13:00~17:00



夕食 18:00



消灯 22:00



ご面会時間終了後、エコ対策の一環として徐々に消灯しますのでご了承ください。

面会時間

一般病棟：13時～17時

病状によっては面会をお断りすることや、地域および院内の感染発生状況により時間の制限をさせていただきます場合があります。

ICU・HCU・SCU

基本的に、家族の方以外の面会はできません。
なお、面会時間はスタッフステーションでご確認ください。

面会時間以外の時間に面会を希望される方は、スタッフステーションで看護師にご相談ください。

- ※お見舞い客（面会者）への案内をしてほしくない場合は、病棟看護師にお申し出ください。見舞客お断り依頼書をご記入いただきます。
- ※面会の方が病院の駐車場をご利用になる場合は通常の料金となります。

外出・外泊

- 入院中の外出・外泊には医師の許可が必要となりますので、早めにご相談ください。外出または外泊により病棟を出られる時、また、病棟に帰られた時は必ず看護師にお声をかけてください。
- ※外泊された場合でも規定の入院料・室料がかかります。
 - ※原則、安全管理上19時までにお帰りいただけるようお願いいたします。なお、19時には正面玄関が閉まりますのでご注意ください。
 - ※深柵ガーデンに行かれる場合も外出届が必要です。
 - ※院内を移動する際は、必ずセキュリティカードを常時携帯してください。
 - ※無断離院については、責任を負いかねます。

シャワー室利用時間

9時～19時まで

- ※各病棟の指定時間内にご利用ください。
 - ※病状に応じて使用いただきます。
- 更衣の衣服、入浴・洗髪用具、タオル、バスタオル、洗面器などをご用意ください。（入浴できない場合は、看護職員が身体を拭いたり洗髪します）

感染予防

- 各病室の入り口に、手指消毒剤を設置しております。入退室時など手指衛生にご利用ください。
- 咳、くしゃみ、発熱など風邪症状のある方は面会をご遠慮ください。
- 乳幼児の面会は、できるだけご遠慮ください。
- 生花、鉢植え等は細菌繁殖の原因となりますので、病室への持ち込みはご遠慮ください。

病院からのお願い

禁酒・禁煙を厳守してください

当院敷地内は全面禁煙
(電子たばこ、無煙たば
こ等の「新しいたばこ」
を含む)です。ご家族お
見舞いの方を含めご協力
をお願いします。また、入院中の飲酒は禁止です(ノ
ンアルコールもご遠慮ください)。



携帯電話の使用

- 通話禁止エリア
病室(4人室)、診察室、処置室
※必ず主電源をお切りください
7階ICU・HCU、10階SCU
- 通話可能エリア ※マナーモードでお使いください
【病棟】個室病室、食堂・デイルーム、電話コーナー
【外来】エレベーターホール、病院玄関付近

迷惑行為

医療従事者や他の患者さんに対し、暴力・暴言ま
たはセクハラ等の迷惑行為が認められた場合は強制
退院等の措置を取らせていただきます。

危険物の持ち込みを 禁止しています

刃物や火器類など
の危険物の持ち込み
を禁止します。



動画・写真の撮影、録音は禁止

患者さんや職員のプライバシー及び病院内におけ
る個人情報を守るため、病院内における動画や
写真の撮影、録音は禁止します。必要により撮影等
をされる場合は、病院スタッフの許可が必要です。

電気製品の持ち込み

病室で私物の電気器具をご使用になる場合は、医
師の許可が必要です。スタッフステーションへお申
し出ください。お申し出の内容により許可できない
場合もありますのでご了承ください。
※加湿器の利用は、個室で医師の許可がある場合に
限ります。多床室での使用はご遠慮ください。

病状等のご説明の実施時間について

現在、医師の長時間労働が社会的な問題としてク
ローズアップされています。当院では、この対策の
一環として、病状等のご説明の実施時間を原則とし
て下記時間帯に設定することにいたしました。
皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。
(平日) 9:00~17:00

電子レンジ・給湯

病棟内の給湯コーナーにてご利用になれます。

器物等の破損や紛失

故意または過失により、病院の器物等を破損また
は紛失した場合は、弁償していただく場合がございます。

病室・ベッドの移動

患者さんの病状、診療上の都合により、お部屋の
ご希望に添えない場合やお部屋を移動していただく
ことがありますので、予めご了承ください。
壁にコンセントがあるため、病室のベッドは壁か
ら20cm離しています。動かさないでください。

盗難防止

盗難防止のため、貴重品・現金等はなるべくお持
ちにならないようお願いいたします。お持ちになる場合
は十分にお気をつけください。

入れ歯等の管理

入れ歯や補聴器をご使用の方は、紛失防止のため
専用のケースをご用意いただき、ご自身で管理をお
願いします。

テレビ、冷蔵庫、 セーフティボックスのご利用

病室の各ベッドに設置しております。

テレビ・冷蔵庫は、電気器具使用料のご負担をいただきます。(個室は無料)

なお、個室以外でテレビをご覧になる時は、必ずイヤホンをご使用ください。

貴重品は病室に備え付けのセーフティボックスをご利用ください。ご利用になる場合は各自で鍵の管理をお願いします。

なお、セーフティボックスの鍵を紛失された場合は、鍵の交換費用(1,100円)をご負担いただきます。

外部からの お電話でのお問い合わせ

入院中の患者さんに対する入院の有無、病棟、部屋番号、容態などの外部からの電話でのお問い合わせについては原則対応いたしません。ご本人、ご家族に確認していただくようお願いいたします。

無料Wi-Fiサービスについて

病棟内で無料Wi-Fiサービスを提供しております。ご利用の際は、病棟の掲示板にてSSID・パスワードをご確認の上、ネットワークに接続してご利用ください。

※Wi-Fiの接続や設定方法など利用に関するご質問の対応や、ご説明のサポートは行っておりません。

※Wi-Fiの利用に関して、利用者または第三者が被ったいかなる損害についても当院はその責任を負いません。

※提供エリアにおいても100%の接続性や安定した接続速度を保証するものではありません。

お電話の取り次ぎ

「病室番号」・「患者さんの氏名」の両方を正しくお知らせいただいた場合のみ、お取次いたします。患者さんにも予めご承知置きの上、該当の方にはこのことをお伝えください。

付添いご家族の寝具等のレンタル

3階サービスカウンターへご相談ください。

寝具・ねまき

寝具類は病院常備となっております。ねまきは入院セット(有料)のご利用を推奨しています。

ご利用されない場合は、ご自身でご用意ください。緊急入院・手術等で病院のものを使用された場合には、洗濯代をご負担いただきます。

ご家族の付添い

患者さんの病状によっては、家族が希望され医師が認めた場合、ご家族の方に限り、終日付添っていただくことができますので看護師にお申し出ください。

午前退院のお願い

診療上必要な場合を除き、午前11時にはご使用いただいた病室からの退室をお願いしています。ご理解とご協力をお願いします。

洗濯

ご入院中の洗濯はご本人またはご家族の方でお願いします。洗濯機、乾燥機は各病棟に設置しています(有料)。洗剤等は各自ご準備ください。

おむつ(大人用)

より良い排泄ケアのために、当院が選定した紙おむつを使用しております。

患者さんにご用意いただく必要はありません。料金は入院費とともに請求となります。詳しくは病棟で看護師が説明します。

なお、病院内ではコンビニで同じものを販売しておりますので退院されてからも必要な場合はご利用ください。

ご意見箱

1階にご意見箱を設けております。皆さまからの貴重なご意見をいただき、入院中の療養環境の向上に努めたいと思います。

患者の医療安全

名前の表示

患者さんの医療安全管理の面から、病室入口とベッドボード・食札等には、患者さんの氏名を掲げさせていただきます。

名前表示を希望されない場合は、スタッフステーションにお申し出ください。

リストバンド

リストバンドには、お名前・生年月日・性別・血液型が記載されています。記載内容に間違いがないか必ずご確認ください。患者さん本人が確認できない場合は、ご家族の方がご確認ください。



「なまえ」確認

お名前を聞くのは医療安全の基本です。診察・検査・注射や点滴、薬局、会計時など、医療スタッフは、何度も「お名前は?」と確認しますのでフルネームでお答えください。聞き間違いや、思い込みによる患者誤認を防ぐことができます。



患者さんは、チーム医療の一員です

患者さんがチームの一員として、自らの治療に参加されることで、より安全で質の高い医療提供につながります。納得のいく治療を受けるために、是非、積極的な参加と取り組みをお願いいたします。

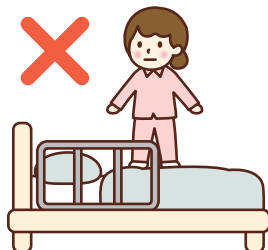
患者さんが参加し、取り組む「医療安全10カ条」

1. ベッドネームやリストバンド、書類に記載されている名前や付帯事項に間違いはないか、ご確認ください。
2. 曖昧な返事はせず、納得されるまで何度でも聞き直してください。
3. わからないことをそのままにしないでください。わからないのはあなたのせいではありません。
4. 大切なことは忘れないよう、メモ(備忘録)を取りましょう。
5. 「いつもと違う」と感じたら必ず、医師・看護師に伝えてください。
6. 点滴・内服薬袋・検査伝票など、ご自分の名前に間違いはないか、ご確認ください。
7. 普段から、自己紹介はフルネームでする習慣をつけましょう。同姓同名の人がいるかもしれないので、「○○の・・・」と1つ条件を付加すると、なお良いです。
8. ご自身の意図が十分に伝わったか心配な時は、遠慮なく繰り返し何度でもお伝えください。
9. 入院中に、身体機能や認知機能を低下させないように適度に動き、頭を使うようにしてください。ご自身でできることは、なるべく継続して行いましょう。
10. 生命や人生は、誰のものでもなくご自身のものであることを忘れないでください。

転倒・転落予防

1 ベッドでの注意事項

ベッドの上に立ち上がったり、ベッドから身を乗り出さないでください。



2 靴を準備してください

スリッパは転倒の危険性がありますので、靴(普段履きなれたもの、すべりにくいもの)を準備してください。



3 夜間の移動

夜間はベッドランプをつけ、足元を明るくしてから立ち上がってください。



4 ナースコールの利用

体調が十分でない時の移動の際には、遠慮なくナースコールで医療スタッフを呼んでください。



5 「転倒転落防止説明書」



患者さんには、「転倒転落防止説明書」を用いて説明を行っています。安全な入院生活を過ごせるよう、患者さん・ご家族と一緒に対策を考えていきます。

転倒・転落の危険度が高く、安静を守ることが困難な患者さんには、患者さんの安全確保のために、「行動制限（身体拘束）」を同意のもと行う場合があります。

職員が血液等曝露した時のお願い

手術や採血などの観血的処置の際に、医療スタッフが誤って患者さんの血液や体液を曝露してしまった場合、患者さんに感染症の有無を調べるための血液検査をお願いすることがあります。強制ではありませんが、医療スタッフの安全を守るための処置ですので、ご協力をお願いします。

入院前から退院後までのトータルサポート

医療機関には手術や専門的治療を行う高度急性期・急性期と日常生活に復帰するために医療処置を継続したり、リハビリテーションを実施する回復期・慢性期があります。

川崎医科大学総合医療センターは高度急性期・急性期機能を担う医療機関であり、症状が比較的安定すると退院となります。また、患者さんの病状や状態に応じて回復期病院などへ転院となる場合もあります。

在宅復帰、病院・介護施設への転院・入所など、お困りのことがあれば、患者診療支援センター患者相談窓口までお気軽にお問い合わせください。

地域医療連携について

地域医療連携室では、患者さんやご家族にかかりつけ医のご紹介をしたり、地域の医療機関の先生との顔の見える連携活動を行っています。



〈かかりつけ医について〉

かかりつけ医とは、日頃から健康相談をしたり、患者さんやそのご家族の健康管理をしてくれるホームドクター（地域の診療所やクリニック）のことです。かかりつけ医をもっておけば、ちょっとした心配事からいざという時の対処も相談できます。

〈開放病床について〉

「開放病床」とは、紹介医の先生と川崎医科大学総合医療センターの主治医とが連携して治療にあたる仕組みのことです。患者さんの入院中に紹介医の先生が来院され、主治医と治療方針について話し合い、共同して治療していきます。開放病床を利用いただくことで退院後も安心して継続した治療が受けられます。

医療相談について

療養生活を続けていく上で生じるさまざまな問題について、医療ソーシャルワーカーや看護師、臨床心理士等がお話をうかがい、患者さんやご家族の不安や悩みを解決するお手伝いをしています。

〈医療相談室〉

- 電話：086-225-2111（代表）

- 場所：1階 ⑫患者診療支援センター内
- 相談時間：平日8：30～17：00
土曜日8：30～12：30
- 休み：日曜・祝日・創立記念日（6月1日）
年末年始（12月29日～1日3日）

〈ご相談内容〉

- 療養中や退院後のさまざまな生活に関すること
- 介護保険や障害者手帳などの医療福祉制度について
- 身体機能の変化とその対応に関すること
- 療養中のストレスや気持ちの整理について
- 医療費とその支払いに関すること
- 家族や仕事に関すること
- その他、誰に相談したらよいか分からないことなど

〈相談に応じた支援〉

様々な専門のスタッフが連携をとり、患者さんやご家族の不安や悩みを解決するお手伝いをしています。また、医療チーム（緩和ケアチーム・栄養サポートチームなど）を活用して、迅速かつ適切に個々にあったサポートを行っています。



患者相談窓口

当院では「患者相談窓口」を設け、患者さんやご家族の治療に関する医学的な質問や不安や心配事、要望などをお聞きして、適切かつ迅速に対応することで、患者さんに安心して当院の治療を受けていただけるように患者サポート体制の充実を図っています。

秘密は厳守いたしますので、安心してご相談ください。

- 責任者：患者診療支援センター長
- 担当者：医療ソーシャルワーカー・看護師・臨床心理士等
- 電話：086-225-2111（代表）
- 場所：病院1階 ⑫患者診療支援センター患者相談窓口
- 相談時間：平日8：30～17：00
土曜日8：30～12：30
- 休み：日曜・祝日・創立記念日（6月1日）
年末年始（12月29日～1日3日）
※相談時間帯以外につきましては、救急外来受付（病院1階13番）にお申し出

(患者診療支援センター)

いただければ、日勤・夜間看護責任者が対応いたします。

- 相談方法：ご相談希望の方は、直接お越しいただくか、お電話でも対応しております。



入退院支援について

患者さんの持つ力を最大限に引きだし、自立する方法を共に考え在宅療養へつなぎます。退院に向けて、専門性の高い専門看護師・認定看護師や、多職種と連携し看護の視点を活かしたサポートを行っています。

〈入院前〉

- 入院前面談を行います。
- 手術前の準備や入院中の流れをご説明します。
- ご自宅での生活状況等をお聞きします。
- ケアマネジャーや訪問看護師と連携を図ります。
- 入院前に中止していただく薬がある場合は、前日にご自宅へお電話させていただくことがあります。

〈入院中〉

- 退院支援を専門で行う看護師や医療ソーシャルワーカーが、医師や薬剤師、管理栄養士、理学療法士などの専門のスタッフと協力して、患者さんやご家族が安心して在宅療養を送れるよう準備をします。

〈退院前〉

- 在宅スタッフ（訪問診療医やケアマネジャー、訪問看護師など）と連携を図り、自宅での生活を準備します。

〈退院後〉

- 電話訪問を行うことがあります。
- 患者さんやご家族のご意向をうかがいながら自宅訪問を行うこともあります。



がん相談について

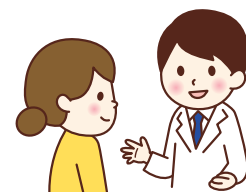
がんに関する相談についてがん相談専門員（医療ソーシャルワーカー・看護師）がお話を伺い、病気と向き合っていくお手伝いをしています。患者さん、ご家族、地域の皆さん、どなたでも利用できます。

〈がん相談支援センター〉

- 電話：086-225-2111（代表）
086-225-2134（直通）
- 場所：1階 ⑫患者診療支援センター内
- 相談時間：平日9:00～17:00
土曜日9:00～12:30
- 休み：日曜・祝日・創立記念日（6月1日）
年末年始（12月29日～1日3日）

〈ご相談内容〉

- 治療や療養上の疑問や不安、心配事について
- セカンドオピニオンについて
- 緩和ケアについて
- 医療福祉制度について
- 仕事と治療の両立について
- 治療中や退院後のさまざまな生活費について
- 医療費とその支払いについて
- ご家族の心配や悩みについて
- 患者さんご家族を支援する団体（患者会・家族会など）について
- 治療と学校、仕事について
- がん治療における妊娠・出産・育児について
- 身体の変化やその対応について
- ストレスや気持ちの整理について



〈かわさき深抵サロン〉

それぞれの悩みや不安な気持ちの分かち合いができる交流の場所として、当院ではがんサロン「かわさき深抵サロン」を開催しています。開催日時など詳細については、病院のホームページまたは院内にポスター掲示をしておりますのでご確認ください。

- 参加費：無料
- 対象：がん患者さんご家族
- 問い合わせ先：がん相談支援センター
086-225-2111（代表）

入院会計

入院医療費の計算方法「DPCによる包括払い方式」

当院の入院医療費の計算方法はDPC/PDPSによる包括払い方式です。

DPC/PDPSとは急性期入院医療を対象とする、国が定めた診断群分類（病気の種類、手術や処置の有無、合併する病気の有無等によって病気を分類）に基づく1日当たり包括払い制度です。

出来高払い方式

入院基本料、医学管理料、在宅医療、投薬、注射、処置、手術・麻酔、輸血、血液検査、生理検査、内視鏡検査、画像診断、放射線治療、リハビリ など



DPC/PDPS (包括払い方式)

包括評価

● 診断群分類ごとの1日あたりの定額 × 医療機関別係数 × 入院日数

+

出来高部分

● 医学管理料、在宅医療、内視鏡検査
手術・麻酔、輸血、放射線治療、リハビリ など

基本的に一般病棟に入院されるすべての患者さんがDPCの対象ですが、DPCで定められている診断群分類に該当しない場合は出来高算定で医療費を請求します。また、以下に該当する方もDPC対象外ですのでご了承ください。

労災保険・自賠責保険・治験の方、緩和ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟へご入院される方
ご不明な点は、医事課入院担当までお問い合わせください。

食費（1食490円×食事回数）は上記医療費とは別になります。

※非課税世帯の方で標準負担額減額認定証をお持ちの場合は適用区分により食費が減額されます。

70歳未満 高額療養費現物給付制度

70歳未満の方を対象に、患者さんの自己負担額（保険診療分）が、同一月内で一定限度額までとなる制度です。事前に保険者に申請することによって「限度額適用認定証」が交付されます。入院時に保険証と併せて入院受付にご提示ください。

●手続き

申請窓口は各保険者（協会けんぽ、保険組合、国保の場合は各市町村役場）です。

詳細については各申請窓口にお問い合わせください。

区分	被保険者の所得区分	自己負担限度額(直近1年間に3回目まで)
ア	標準報酬月額83万円以上	252,600円+1% (医療費が842,000円を超えた場合は、その超えた分の1%を加算)
イ	標準報酬月額53万~79万円	167,400円+1% (医療費が558,000円を超えた場合は、その超えた分の1%を加算)
ウ	標準報酬月額28万~50万円	80,100円+1% (医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の1%を加算)
エ	標準報酬月額26万円以下	57,600円
オ	住民税非課税世帯(低所得者)	35,400円

●食事療養費の減額について

市町村民税非課税世帯の方は、申請により減額認定を受けることができます。詳しくは各保険者へお問い合わせください。

70歳以上の場合

自己負担割合に応じた自己負担額までのお支払いとなります。I・IIについては「限度額適用認定証」の交付申請が必要です。

区分	自己負担割合	自己負担限度額(月額)
現役並み	3割	III 252,600円+1% (医療費が842,000円を超えた場合は、その超えた分の1%を加算)
		II 167,400円+1% (医療費が558,000円を超えた場合は、その超えた分の1%を加算)
		I 80,100円+1% (医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の1%を加算)
一般	1割・2割	57,600円
低所得	1割	II 24,600円
		I 15,000円

病室のご案内

区分	料金(1日につき) (税込み)	病棟		設備						備品				
				浴室	トイレ	ミニキッチン	洗面台	冷蔵庫	テレビ	セーフティボックス	応接セット	チェア	丸椅子	
個室	36,300円	東	8*・9・12・13・14**階	○	○	○	○ (洗面室)	○ (冷凍冷蔵庫)	○	○	○ (テーブル・ソファ)	○	○	
		西	10・11階											
	14,850円	東	8*・9・10・11・12・13・14**階	トイレ・シャワーユニット			○	○	○	○	○ (テーブル・チェア)		○	
		西	9・10・11・12階											
	8,800円	東	8*・9・10・11・12・13・14**階		○		○	○	○			○	○	
		西	9・10・11・12階											
4人室	2,970円	東	9・10・12・13階				△	○	○			○		
		西	10・11・12階		△		△	○	○			○		
	0円	東	8*階(8116、8117)				△						○	
		西	8*・9・10・11・12・13・14**階		△		△	○	○	○			○	
		西	9・10・11・12階		△		△					○		

* 8階東は回復期リハビリテーション病棟です △は病室入り口の共用トイレとなります **14階東は緩和ケア病棟です
* 4人室(0円)は、電気器具(テレビ・冷蔵庫)使用料が必要となります。料金は1日につき、495円(税込み)となります。

室料差額の計算方法

宿泊施設等の考え方と異なり、病院での「1日につき」は、00:00~24:00とするため、室料差額は、ご入室・ご退室された時間に係わらず入室日と退室日を含めて計算します。

例) 1泊2日でご入院された場合、室料差額は2日分となります。

入院中他医療機関の受診

基本的に当院入院中は他医療機関の受診はできません。無断で受診されたり、ご家族がお薬を取りに行かれた場合は保険証が使えません。ただし、治療上他医療機関の受診が必要と主治医が判断した場合はこの限りではありません。

入院中の他科受診

当院で導入しているDPCは、医療資源を最も投入した一つの疾患(診断群分類)に対して、入院診療を行うことを前提とした制度です。このため、緊急を要しない他の疾患の治療や検査をご希望された場合、退院後に当院外来若しくはかかりつけ病院での受診をお願いすることがありますのでご了解ください。

診断書のお申し込み

- 1階②文書受付で、申込書をご記入の上お申し込みください。なお、生命保険用診断書はご退院日以降にお申し込みください。
- 受付時間 平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:30
 - 文書料金 ・生命保険用診断書 1通 5,500円(税込み) ・簡易保険診断書 1通 5,500円(税込み)
・職場提出用・学校提出用等の当院書式による診断書(1通 2,200円)は、直接医師にご依頼ください。
 - お渡しできるまでの期間は書類の種類・内容により異なりますのでご了承ください。

入院費用のお支払

- 入院中の方
入院費は毎月1回(月末)に締切り計算します。
「入院診療費のお知らせ」を翌月10日以降に病室にお届けします。(曜日などの都合により遅れる場合があります)
「入院診療費のお知らせ」をお受け取りになってから5日以内にお支払いください。
- 退院される方
お支払は退院当日にお願いします。「入院診療費のお知らせ」を、入院会計担当者がお届けしますので病室でお待ちください。(曜日の都合により事前にお届けする場合があります)
- 入院会計のお支払場所とお取扱時間
場所 1階⑦お支払コーナー(診療費支払機)
時間 平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:30
上記以外の時間帯(夜間・休日)は救急外来の診療費支払機をご利用ください。



施設・設備

玄関

ご利用時間

●病院玄関

月～土曜日 7:30～19:00

日曜・祝日 8:30～19:00

●左記以外の時間帯は、救急外来・時間外入口をご利用ください。

患者図書室

●ご利用時間 平日 9:00～13:00

●祝日・創立記念日(6月1日)・年末年始(12月29日～1月3日)は閉館となります。

医学・医療・健康に関する様々な図書・雑誌やパンフレット類を設置しています。

患者さん、お付添の方、一般の方、どなたでもお気軽にご利用いただけます。

本の貸出はできません。

屋上庭園

「屋上庭園」のご利用について

●ご利用時間 9:00～16:30

●雨天、強風時には閉園します。

●ヘリコプターが接近したら危険ですですのですぐに建物内にお入りください。

●屋上庭園へ行かれる際には病棟スタッフへお声かけください。



敷地内は禁煙です。
必ずお守りください。



面会者用セキュリティカードでは
行くことができません。

深柢ガーデン

●ご利用時間 6:00～21:00

21時以降は閉鎖いたします。

●深柢ガーデンに行かれる際には、外出届が必要です。

避難経路

非常時の避難口については、入院時にご説明させていただいております。ご本人、ご家族の方も確認してください。火災発生時には落ち着いて職員の指示・誘導に従い避難してください。



院内ご案内

1階



ATM(中国銀行)

ベーカリーカフェ まちなか

- 営業時間
平日 7:30 ~ 17:00
土曜 7:30 ~ 15:00
- 休業日 日曜・祝日・6月1日

2階



コンビニ Daily Well

- 営業時間
平日 7:00 ~ 20:00
土曜・日曜・祝日 7:00 ~ 17:00
- 食料品、日用品、新聞・雑誌等
医療・介護用品
切手、宅配便サービスの受付

レストラン dining garden

- 営業時間
平日 10:00 ~ 15:00
土曜 10:00 ~ 14:00
- 休業日 日曜・祝日・6月1日

サービスカウンター

- 営業時間
平日 8:30 ~ 17:00
土曜 8:30 ~ 12:30
- 休業日 日曜・祝日

3階



ATM(中国銀行)

物販機

コンビニ営業時間外は、13外来にある物販機をご利用ください。

レストラン、コンビニ、ベーカリーカフェの営業時間は諸事情により、変更となる場合がございますのでご了承ください。

フロア構成

	ヘリポート		
	会議室		
15F	屋上庭園		
14F	病棟		病棟
13F	病棟		病棟
12F	病棟		病棟
11F	病棟		病棟
10F	病棟		病棟 SCU
9F	病棟		病棟
8F	病棟	リハビリテーション 庭園	リハビリテーションセンター
7F	中央手術室、IVRセンター、ICU・HCU		
6F	病院管理部門		
5F	病院管理部門		
4F	内視鏡センター、通院治療センター、透析センター、治験センター		
3F	外来、検査センター、総合健診センター、栄養指導室		サービスカウンター
2F	外来、画像診断センター、採血センター、中央処置室、患者図書室		レストラン、コンビニ
1F	ベーカリーカフェ	病院玄関	川崎祐宣記念ホール
あくら通り		救急外来、総合診療外来、小児科	かわさきコミュニティホール
B1F	駐車場		駐車場
B2F	駐車場	放射線治療センター	駐車場

深抵ガーデン

患者の権利

当院は、医療が患者と医療提供者との信頼関係で成り立つものであり、医療の中心は患者であると認識し、次のような権利があることを宣言します。

1. 個人としてその人格を尊重され、良質な医療を公平に受けることができます。
2. ご自分の病気、受ける治療や検査などについて、わかりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
3. ご自分の意志で治療方法や医療機関を選択することができます。
4. 他の医療機関の受診を希望される場合は、必ず情報提供を受けることができます。
5. ご自分の診療録の開示を求めることができます。ただし、当院では、「川崎医科大学総合医療センター診療録(カルテ等)開示要領」に基づいて開示を行っております。
6. プライバシーは守られます。

患者の皆さまへ

当院は、大学病院としての責務を果たすため、さまざまな医療を提供しております。

当院にご来院された患者の皆さまは、次のことをご理解いただき、適切な医療を行うためにご協力くださいますようお願いいたします。

1. 良質な医療を実現するために、ご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話しください。また、病状の変化や治療中に生じた問題についてもお知らせください。
2. 医療に関する説明を受けても、よく理解できない時は納得できるまでお尋ねください。
3. 当院の医療従事者は、いつでも適切な医療を受けられるよう最大の努力をいたします。病院のルールとマナーをお守りいただき、他の方々へのご迷惑にならないよう、ご配慮ください。
4. 当院は敷地内全面禁煙となっておりますので、療養中の禁煙にご協力ください。
5. 受けた医療に対し、その対価を速やかにお支払いいただくようお願いいたします。
6. 当院は、教育・研修機関としての使命を担っております。院内では、医学生、看護学生等が、指導者の厳重な監督のもとに、研修・実習・見学を行っています。ご理解とご協力をお願いいたします。

職業倫理指針

1. 私たちは、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
2. 私たちは、知る権利及び自己決定権を尊重し、十分なインフォームド・コンセントのもとに医療を行います。また、医療行為の選択にあたり、セカンド・オピニオンを聞く権利を保証します。
3. 私たちは、対象となる人々に関係法規、ガイドラインを遵守し、検査・診断・治療・研究を誠実にを行います。
4. 私たちは、対象となる人々に平等に医療を提供します。
5. 私たちは、対象となる人々に安全な医療を提供します。
6. 私たちは、守秘義務を遵守し、個人情報の保護に努めます。
7. 私たちは、多職種間及び地域と連携・協働して、対象となる人にとって最善の医療を提供します。
8. 私たちは、自己の責任と能力を認識し、継続学習による能力の維持・開発に努めます。
9. 私たちは、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、医療の発展に寄与します。
10. 私たちは、社会の人々の信頼を得るように、自身の心身の健康の保持増進に務めるとともに、個人としての品格を高く維持します。

個人情報保護

患者の皆さまの個人情報保護の利用目的

当院は、個人情報を下記の目的に利用し、その取り扱いには細心の注意を払っています。
個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

医療提供

- 1) 当院での医療サービスの提供
- 2) 他の病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等との連携
- 3) 他の医療機関等からの照会への回答
- 4) 患者の診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- 5) 検体検査業務の委託その他の業務委託
- 6) ご家族等への病状説明
- 7) その他、患者への医療提供に関する利用

診療費請求のための事務

- 1) 当院での医療・介護・労災保険、公費負担医療に関する事務およびその委託
- 2) 審査支払機関へのレセプトの提出
- 3) 審査支払機関または保険者への照会
- 4) 審査支払機関または保険者からの照会への回答
- 5) 公費負担医療に関する行政機関等へのレセプトの提供、照会への回答

- 6) その他、医療・介護・労災保険、及び公費負担医療に関する診療費請求のための利用

当院の管理運営業務

- 1) 会計・経理
- 2) 医療事故等の報告
- 3) 当該患者の医療サービスの向上
- 4) その他、当院の管理運営業務に関する利用

企業等から委託を受けて行う健康診断等における企業等へのその結果の通知

医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談または届出等

医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料

当院内において行われる医療実習・医療研修への協力

医療の質の向上を目的とした当院内外での症例研究

外部監査機関への情報提供

治験・製造販売後臨床試験又は臨床研究にかかる調査および支援業務の委託

1. 上記のうち、同意しがたいものがある場合には、その旨をお申し出ください。
2. お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。
3. これらのお申し出は、後からいつでも撤回・変更等をすることが可能です。

交通のご案内



公共交通機関をご利用の方

JR岡山駅からのご利用は

- 市内バス…天満屋経由のバスで「天満屋」下車、徒歩で約5分
- 市内電車…清輝橋行で「田町 (川崎医大総合医療センター前)」電停下車、徒歩で約2分
- タクシー…タクシーをご利用の場合、約10分

お車でお越しの方

外来駐車場 (地下)

- 営業時間 平日・土曜 7時30分～19時 (入庫18時まで)
日曜・祝日 8時30分～19時 (入庫18時まで)
(時間外救急受診の際は時間外駐車場 (提携) をご利用ください。)
- 料金体系 外来受診当日 **3時間まで無料** (以後30分ごとに200円)
入院当日及び退院当日 **2時間まで無料** (以後30分ごとに200円)
上記以外 30分ごと200円 入庫より24時間 最大3,000円
- 利用方法 ①駐車の際、駐車券を受け取ってください。
②外来受診の方は、地下1階・地下2階にあります事前精算機にて駐車券と診察券を挿入してください。
③入院当日、退院当日は入院受付で駐車券を提示し、駐車サービス券をお受け取りください。精算機にて駐車券と駐車サービス券を挿入してください。

時間外駐車場 (提携)

- 名称 パークンパーク中山下2丁目駐車場
- 営業時間 17時00分～翌朝8時30分
- 料金体系 救急外来受診当日 **無料**
- 利用方法 ①駐車後、精算機にて『駐車証明書』を発行してください。
②救急外来受付にて『駐車証明書』を提示し、診療後に駐車サービス券 (200円カード、100円カード) をお受け取りください。
③出庫前に精算機にて駐車サービス券 (200円カード、100円カード) を挿入してください。

駐車料金割引

- 外来診察日、入院及び退院当日のみ、駐車料金割引をご利用いただけます。**
お見舞いなどの場合は申し訳ございませんが、料金割引の対象となりません。
- サービス時間以降についての差額は自己負担となります。